



地域共創センター長
土屋敏夫

今後の活動に向けて

下関市立大学は、平成25年に独立行政法人化から6年が経過し、第2期中期計画にもとづいた新たな活動を開始しています。大学と地域の連携の前線基地として設立された地域共創センターも、導入期から成長期へと一段のステップアップを図るべく、中期計画に沿ってアーカイブ、地域調査研究、地域教育活動の3部門において事業を展開しているところです。

アーカイブ部門では、6月から地元山口県のうに協同組合から貴重な資料を寄贈していただき展示を開始しました。大学の資源は限りがありますので地域のニーズにすべてお応えすることはできませんが、皆さんのお力をおかりしながら地域のお役に立てるセンターにしていきたいと考えています。今後ともよろしくお祈りいたします。

Information

地域調査研究部門

1. 地域共創研究

■ 本学教職員から単年度完結の企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。本学職員の共同研究を促す制度として唯一のもので、研究備品費と研究旅費を助成しています。その成果は成果報告会で公開されるとともに、新しい定期刊行物「地域共創センター年報」に論文として掲載します。

2. 関門地域共同研究

■ 北九州市立大学との共同研究です。行政区画を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となったのです。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。

3. 国際共同研究

■ 本学と友好交流協定校である青島大学間で2004年度から行っていた「国際共同研究」の成果発表としてセンター年報・創刊号で報告しました。また、釜山・東義大学校との国際共同研究開始のシンポジウムを行い、今後は両学で交互に開催することになります。

4. 自主調査研究

■ センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補佐します。

5. 受託調査研究

■ 地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が始動します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

6. 自主資料収集

■ 市民団体発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めていきます。

Information

地域教育活動部門

平成26年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

市民大学

- 公開講座
- 開放授業
- 教養総合
- 地域論

出前市民大学

テーマ講座

下関未来大学

- 関門地域学科
- 東アジア学科(芸術文化)
- まちづくり・ひとづくり学科

下関ユースカレッジ

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

地域共創センター ニュースレター

発刊◆2014年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館II 2階)
〒750-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 ◆chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 URL◆http://www.shimonoseki-cu.ac.jp

出版物のご案内



地域共創センター
年報 vol.6



ディスカッションペーパー



関門地域研究 vol.23



地域共創センター
ニュースレター vol.6



資料室だより vol.3



唐戸サテライトキャンパス
ニュースレター 8-9号

スタッフのご紹介

□ 地域調査研究部門 研究員

土屋 敏夫	センター長
水谷 利亮	部門長
木村 健二	
外戸保 大介	
山川 俊和	
中嶋 健	
桐原 隆弘	

□ 地域教育活動部門 コーディネーター

土屋 敏夫	センター長
難波 利光	部門長
西田 光一	
萩原 久美子	
川野 祐二	

□ アーカイブ部門 研究員

土屋 敏夫	センター長
吉弘 憲介	部門長
橋 誠	

編集後記

地域共創センターを開設して6年が経ちました。大学と市民の協働・共創活動の情報集約を行い、市民と大学をつなぐ窓口としての役割を担っています。今後も地域とのつながりをもっと深めていく拠点として活動を行って参りますのでご支援いただきますようお願い申し上げます。

この「地域共創センターニュースレター」などを通して、学生・教職員と市民との交流・連携の輪を広げて行きたいと思っています。(Yo)

地域共創センターニュースレター

2014

Vol.6

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々との協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組むことを目指します。

◆ごあいさつ



下関市立大学
学長 吉津 直樹

地域とともに歩む地域共創センター

下関市立大学において、研究・調査、教育を通して地域との連携を目的とする研究機関として発足したものが、1958年の「下関産業文化研究所」でした。この研究所は任意団体でしたが、1990年に正式な附属研究機関「産業文化研究所」として再スタートしました。さらに2007年4月に本学が公立大学法人となるのに従い、「地域共創センター」として新たなスタートをいたしました。

本センターは市民向けの公開講座などを行う「地域教育活動部門」、下関地域の調査・研究を行う「地域調査研究部門」、ふぐやくじらなどを中心とする地域資料を収集・公開を行う「アーカイブ部門」の3つに分かれ、積極的な活動を展開しています。また、2009年には唐戸にサテライトキャンパスも開設しました。

今後は、市民のみならず市役所など行政機関、企業との交流・連携を通して地域の課題解決に向けて積極的に取り組むとともに、公開講座などを通して積極的に情報発信を行うことを考えています。

皆様方には「下関市立大学地域共創センター」に気軽に立ち寄っていただければと思います。



公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University

Shimonoseki City University Institute for Collaborative Community Development Newsletter

●市民大学公開講座

〈市大版・下関マップの車談義〉(全1回 木曜日)
日時:6月13日 18:00~20:00
講師:木村 健二教授,水谷 利亮教授,吉津 直樹学長

〈統・統・西田教授の倫理学ゼミ〉(全5回 土曜日)
日時:6月22・29日,7月6・13・27日 10:30~12:00
講師:西田 雅弘教授

〈経営学の歴史〉(全1回 土曜日)
日時:6月28日 10:00~11:30
講師:村田 和博教授

〈ヨーロッパから見た日本〉(全5回 水曜日)
日時:11月6・13・20日,12月4日 16:30~18:00
講師:桐原 隆弘准教授

〈外国語としての「日本語」とは?〉(全1回 水曜日)
日時:12月11日 16:30~18:00
講師:重田 美咲准教授

〈中心市街地をめぐる課題〉(全1回 火曜日)
日時:11月19日 18:30~20:00
講師:菅 正史准教授

〈近代の下関と近郊地域の変容〉(全1回 木曜日)
日時:11月21日 18:30~20:00
講師:木村 健二教授

〈韓国語学習の現状〉(全1回 水曜日)
日時:11月27日 18:30~20:00
講師:吳 香善特任教員

●開放授業

〈教養総合B 愛の諸相2〉(全15回 月曜日)
日時:9月30日~H.26年1月27日
講師:武井 満幹准教授 他学内外講師

〈地域論〉(全15回 月曜日)
日時:9月30日~H.26年1月27日
講師:外野 大介准教授

●出前市民大学

〈女性のリーダーシップ -経営学と女性リーダーの現状・特徴-〉
日時:平成25年7月24日(水) 19:00~20:30
場所:みどり園 25名(居宅介護支援事業所)
講師:村田 和博教授

●市民大学テーマ講座

〈エスコート旅行 -旅行という選択肢ある社会を作る-〉
日時:平成25年12月1日(日) 14:00~16:00
講演:講演I しゅらく旅倶楽部
まさゆめProject 小倉 譲氏(NPO法人しゅらく代表理事)
講演II 石巻 古民家再生 二星 昭子氏(NPO法人しゅらくサブマネージャー)
トークセッション パネラー/小倉 譲 二星 昭子
コーディネーター/難波 利光准教授(下関市立大学経済学部)

●J:COM下関との連携講座

5月11日(土) 講演者:一部 佐藤 隆准教授
6月15日(土) 講演者:一部 吉津 直樹学長「下関市立大学と若者の地域活動」
10月19日(土) 講演者:一部 山川 利和准教授「TPPと日本経済・地域経済」
12月14日(土) 講演者:一部 村田 和博教授 「恋愛から学ぶ経営戦略論」

●下関未来大学 3学科

[A 関門地域学科]
日時:平成25年6月2日(日)~平成25年10月1日(火) 全10回 18:30~20:00
場所:下関市立大学本館I-206・201
※10月8日(火)懇親会開催 18:30~20:00

[B 東アジア学科]
日時:平成25年6月2日(日)~平成25年10月25日(金) 全10回 18:30~20:00
場所:下関市立大学本館I-206・201
※11月1日(金)懇親会開催 18:30~20:00

[C 食と健康学科]
日時:平成25年6月2日(日)~平成25年10月31日(木) 全10回 18:30~20:00
場所:下関市立大学本館I-206・201
※11月7日(木)懇親会開催 18:30~20:00



●下関ユースカレッジ(中高生夏期大学)-郷土について学ぼう-

日時:平成25年8月20日(火)~平成25年8月22日(木) 全9回
場所:下関市立大学本館I-205・206
8月21日(水)
学外研修:中国電力(株)下関発電所・長府散策(博物館含む)



●平成24年度地域共創研究報告会

日時:平成25年5月30日(木) 16:30~17:20
場所:本館II-301教室
テーマ:下関市民の外国語学習の現状と課題について
-三つの言語(英・中・韓)を中心に-
報告者:吳香善 特任教員
浅野 雅樹 准教授
クリステン サリバン 講師



●関門地域共同研究会 成果報告会

日時:平成25年7月3日(水) 14:00~15:30
場所:西日本総合展示場(AIMビル)3階 314・315会議室
テーマ:商店街活性化の課題,女性の仕事の条件,広域連携および道州制に関する意識
1.唐戸地区の土地所有とまちづくりへの意識に関する基礎的調査
菅 正史(下関市立大学 准教授)
2.女性の就業条件と仕事中断の要因
石塚 優(北九州市立大学 都市政策研究所 教授)
3.関門地域における広域連携および道州制に関する市民意識調査
南 博(北九州市立大学 都市政策研究所 准教授)

●自主事業

・唐戸商店街活性化事業

●関門地域共同研究

☆下関市立大学
・第1部 再生可能エネルギーと地域
-日本における「地域からのエネルギー転換」の現状と課題 地域内経済循環の論点を中心に
-自治体の再生可能エネルギー関連事業の動向 -滋賀県と長野県の事例から
-大分県における地熱発電と木質バイオマス発電の動向:日田市と九重町の事例から

☆北九州市立大学
・第2部 横断的に見る女性の就業形態とゆつりの変化
・第3部 広域連携および道州制を視野に入れた地方自治のあり方
-広域連携および道州制の社会的注目度合いの変化と政権交代の影響 -関門地域への影響可能性の観点から

●地域インターンシップ関連

〈粟野川共生会事業への協力と粟野川探訪〉

日時:平成25年11月16日(土)~17日(日)
場所:豊北生涯学習センターおよび粟野川流域
参加者:教員 道盛 誠一,学生



〈長府のまちづくりに関する地域調査〉

日時:平成25年11月24日(日)
場所:長府地区周辺
参加者:教員 水谷 利亮,木村 健二,土屋 敏夫,学生

共創サロン

★第1回★ 平成25年5月29日(水) 17:00~18:00
「東アジアの中の『モンゴル』」
講師:橋 誠(下関市立大学 准教授)
「オーストラリアの多文化主義政策 -オーストラリアでの在外研修を終えて-」
講師:佐藤 隆(下関市立大学 准教授)

★第4回★ 平成25年12月11日(水) 17:00~19:10
「イギリス経営学史研究 -経営組織論的アプローチ-」
講師:村田 和博(下関市立大学 教授)

★第2回★ 平成25年6月26日(水) 17:00~19:10
「コーポレート・ガバナンスにおける機関投資家の役割 -英国Stewardship Codeを参考に-」
講師:久保 佳納子(下関市立大学 講師)

「民主党政権・チルドレン・ファーストとはなんだったのか」
講師:萩原 久美子(下関市立大学 教授)

★第3回★ 平成25年10月23日(水) 17:00~19:10
「日本小売企業のマーケティング -中国内陸部はブルーオーシャンなのか?」
講師:柳 純(下関市立大学 准教授)

★特別編★ 平成26年1月29日(水) 16:30~18:00
「中国における老人扶養と法整備について -ある地方都市と農村部の現状をふまえて-」
講師:朴 成日(下関市立大学 客員研究員)



●国際共同研究

〈木浦大学校〉共同研究会

日時:平成25年9月6日(金)
場所:国立木浦大学校 社会科学大 一階セミナー室
テーマ:地域ブランド戦略と地域経済
研究発表:第一主題「下関フグ再考」
杉浦 勝章(下関市立大学 准教授)
柴川 博司(下関市立大学 准教授)
第二主題「豊光屈非ブランド化の成功戦略と現状課題」
朴 賢玉(木浦大学校 アジア文化研究所研究員)
第三主題「水産資源について」
森 邦恵(下関市立大学 准教授)
第四主題「木浦市の水産物の現況と水産物ブランドに関する意識調査」
高斗 甲(木浦大学校 経済学教授)
第五主題「日本の病院経営・会計の現状と課題」
足立 俊輔(下関市立大学 講師)
現場見学:豊光法聖浦古ルビ販売街&グルビ工場見学

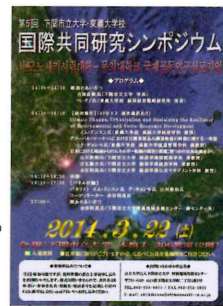


〈青巖大学校〉青巖大学校在日コリアン研究所 第2回国際学術大会

日時:平成25年6月29日(土)
場所:大阪教育大学 中央館2階213教室
テーマ:在日コリアンの生活文化と変容
研究報告:1939年下半年の在日朝鮮人-関門日日新聞にみる下関地域の動向-
木村 健二(下関市立大学 教授)

〈東義大学校〉第5回国際共同研究シンポジウム

日時:平成26年3月22日(土) 14:00~17:30
場所:本館I 206教室
テーマ:環境・資源エネルギー経済
1.Climate Change, Urbanization and Sustaining the Resiliency of Environmental and Socio-Economic Development
イム・ドンスン(東義大学校 商経大学経済学 教授)
2.グローバルマーケットにおける自動車部品の調達物流の特徴に関する一考察
クギョンモ(東義大学校 商経大学流通管理学科 副教授)
3.日本における地域からのエネルギー転換の現状と課題:幾つかの自治体調査から
山川 俊和(下関市立大学 准教授)
吉弘 憲介(下関市立大学 准教授)
水谷 利亮(下関市立大学 教授)
4.パネル討論
コーディネーター 水谷 利亮
パネリスト イム・ドンスン クギョンモ 山川 俊和



第5回 下関市立大学・東義大学校 国際共同研究シンポジウム

●鯨研究会

日時:平成25年5月10日(金) 16:00~19:00
場所:本館II棟中会議室
テーマ:「新発見資料(事業長必携)の価値と評価」
講師:宇仁 義和(東京農業大学生物産学部 嘱託准教授)

●第6回鯨資料室シンポジウム

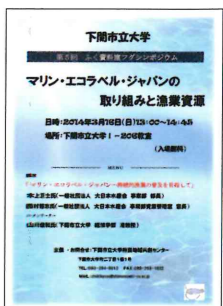
日時:平成25年10月19日(土) 13:00~15:50
場所:本館II棟5階大会議室
テーマ:「鯨類研究の最前線~イルカから大型鯨まで~」
講師:天野 雅男(長崎大学大学院 水産・環境学総合研究科 教授)
「野生鯨類のフィールド研究と成果」
松岡 耕二(日本鯨類研究所 調査研究部観測調査研究室 室長)
「クジラは増えているか?~近年の調査結果から~」
田村 カ(日本鯨類研究所 調査研究部海洋生態系研究室 室長)
「捕獲調査から知るヒゲクジラ類の摂食生態」
司会:石川 創(関西海洋科学アカデミー 鯨類研究室 室長)



第6回 鯨資料室シンポジウム

●第5回ふく資料室フグシンポジウム

日時:平成26年3月16日(日) 13:00~14:45
場所:下関市立大学本館I-206教室
テーマ:「マリン・エコラベル・日本の取り組みと漁業資源」
講師:木上 正士(社団 大日本水産会 事業部 部長)
西村 雅志(社団 大日本水産会 事業部資源管理室 室長)
「マリン・エコラベル・日本の持続的漁業の普及を目指して」
コメント:山川 俊和(下関市立大学 経済学部 准教授)



第5回ふく資料室フグシンポジウム

●鯨資料室聞き取り調査収録

日時:平成26年1月22日(水) 14:00~17:00
場所:マル幸商事株式会社(下関市彦島西山町四丁目13番48号)
協力者:古田 巧(マル幸商事株式会社 会長)

※資料室購入物品

・神都遠洋漁業捕鯨契約書案等・捕鯨会社創立願・平戸捕鯨会社株券雛形・平戸鯨札

※ウニ資料寄贈および公開開始

寄贈日時:平成25年5月13日(月) 13時
寄贈元:山口県うに協同組合
公開日時:平成25年6月24日(月)
寄贈品:馬糞うに標本2,紫うに標本2,赤うに標本2,白髪うに標本1,がげびき1,たま1,たておけ1,はこめがね